

道の脇・北袋大堤・大堤・垣の内 ハザードマップ 赤泊地区 徳和(1/2)

氾濫解析の前提条件

地震や大雨によって、万が一ため池が決壊した際に、浸水が予測される範囲や浸水の深さ及び到達時間を「氾濫解析シミュレーション」により求めたものです。（決壊から最大60分後まで計算）

満水状態のため池の堤体が瞬時決壊（天端から池底まで）し、全貯水量が流出すると想定

※災害の状況によっては、表示されている範囲以外でも浸水する可能性がありますので、注意が必要です。（河川氾濫や内水氾濫は未考慮）

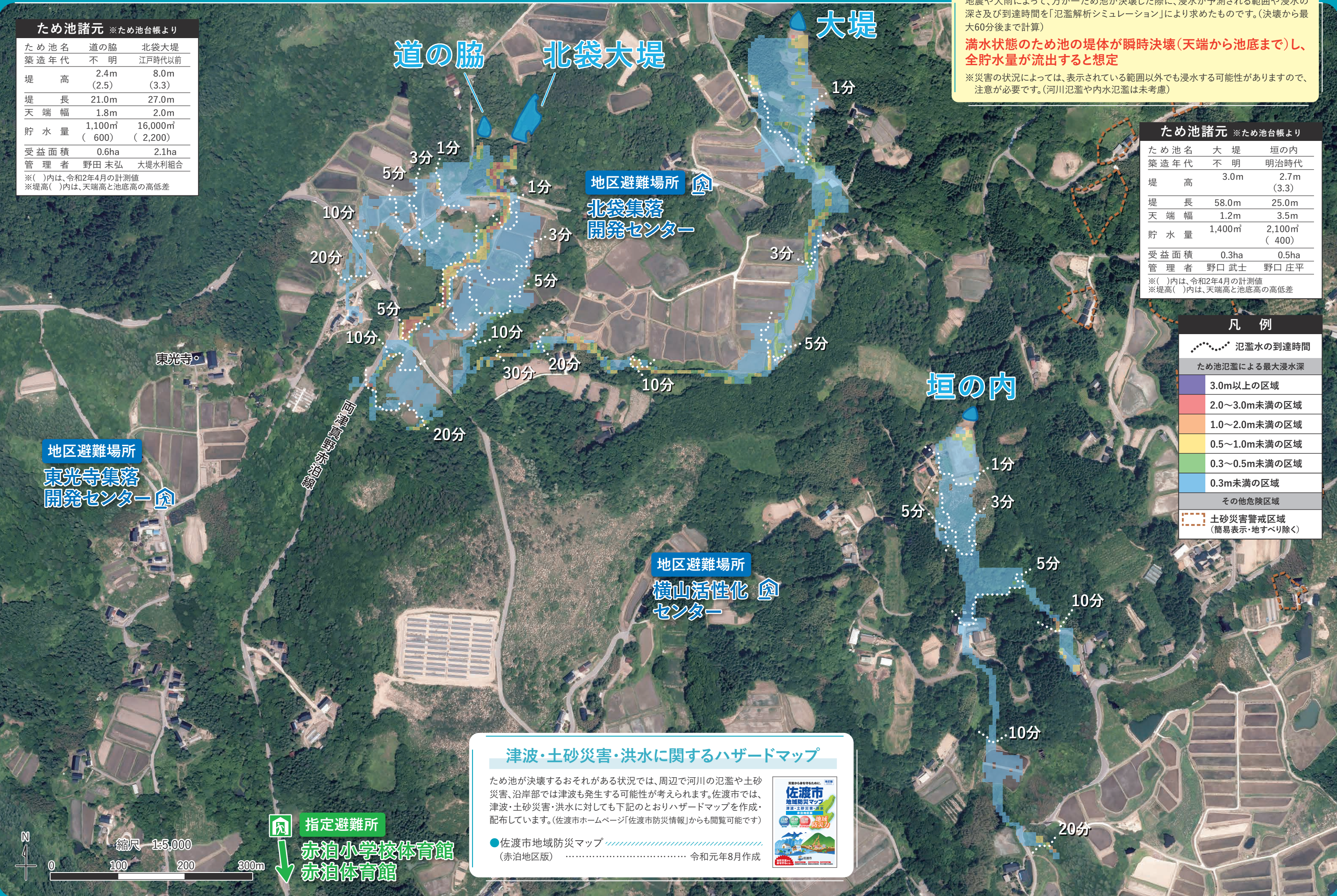
ため池諸元 ※ため池台帳より		
ため池名	道の脇	北袋大堤
築造年代	不 明	江戸時代以前
堤 高	2.4m (2.5)	8.0m (3.3)
堤 長	21.0m	27.0m
天 端 幅	1.8m	2.0m
貯 水 量	1,100㎡ (600)	16,000㎡ (2,200)
受益面積	0.6ha	2.1ha
管 理 者	野田 末弘	大堤水利組合

※()内は、令和2年4月の計測値
※堤高()内は、天端高と池底高の高低差

ため池諸元 ※ため池台帳より		
ため池名	大 堤	垣の内
築造年代	不 明	明治時代
堤 高	3.0m	2.7m (3.3)
堤 長	58.0m	25.0m
天 端 幅	1.2m	3.5m
貯 水 量	1,400㎡	2,100㎡ (400)
受益面積	0.3ha	0.5ha
管 理 者	野口 武士	野口 庄平

※()内は、令和2年4月の計測値
※堤高()内は、天端高と池底高の高低差

凡 例	
	氾濫水の到達時間
	ため池氾濫による最大浸水深
	3.0m以上の区域
	2.0～3.0m未満の区域
	1.0～2.0m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	0.3～0.5m未満の区域
	0.3m未満の区域
	その他危険区域
	土砂災害警戒区域 (簡易表示・地すべり除く)



津波・土砂災害・洪水に関するハザードマップ

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で河川の氾濫や土砂災害、沿岸部では津波も発生する可能性があります。佐渡市では、津波・土砂災害・洪水に対しても下記のとおりハザードマップを作成・配布しています。（佐渡市ホームページ「佐渡市防災情報」からも閲覧可能です）

●佐渡市地域防災マップ（赤泊地区版） 令和元年8月作成



指定避難所
赤泊小学校体育館
赤泊体育館